

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	臨床実習前演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	澤田 正二	実務経験と その関連資格	臨床工学技士として28年西陣病院に勤務し、臨床工学科科長として、血液浄化、呼吸、医療機器管理、手術室業務に従事した他、医療安全管理室において医療機器安全管理責任者を兼務。認定医療機器管理臨床工学技士、透析技術認定師。			
《授業科目における学習内容》						
・技術的な学習だけでなく、患者とのコミュニケーションやチームワーク、倫理的な側面についても重点的に学習する。 ・演習や実習を通じて、実践的なスキルを養うことを重視する。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験： 70％ 2. 出席点： 20％ 3. 平常点： 10％						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
大阪ハイテクノロジー専門学校臨床実習日誌など						
《授業外における学習方法》						
授業後の復習を行うこと。						
《履修に当たっての留意点》						
臨床実習に必要な臨床技術に加え、態度や姿勢、および接遇について学び、実践できるようになって欲しい。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	臨床実習要領		大阪ハイテクノロジー専門学校臨床実習日誌など	授業後の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	臨床実習における基本的な要領や規定について学ぶ。			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	CE業務全般にわたる留意事項		大阪ハイテクノロジー専門学校臨床実習日誌など	授業後の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	臨床工学技士としての倫理や責任、安全に関する事項などについて学習する。			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸治療業務(1)		大阪ハイテクノロジー専門学校臨床実習日誌など	授業後の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	呼吸器系に関する基本的な理論と実践的な技術を習得する。			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸治療業務(2)		大阪ハイテクノロジー専門学校臨床実習日誌など	授業後の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	呼吸治療における高度な技術や状況に対する対応方法を学ぶ。			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	人工心肺業務(1)		大阪ハイテクノロジー専門学校臨床実習日誌など	授業後の復習をしておくこと。
		各コマにおける授業予定	人工心肺装置の基本的な構造や操作方法、患者への適切なケアについて学習する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6 回	演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	人工心肺業務(2)	大阪ハイテクノロジー専門学校臨 床実習日誌など	授業後の復習をしてお くこと。
		各コマに おける 授業予定	人工心肺装置を用いた異常事態や緊急時の対応策を習得する。		
第 7 回	演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	血液浄化業務(1)	大阪ハイテクノロジー専門学校臨 床実習日誌など	授業後の復習をしてお くこと。
		各コマに おける 授業予定	血液浄化装置の原理や機能、安全性に関する知識を深める。		
第 8 回	演 習 形 式	授業を 通じての 到達目標	血液浄化業務(2)	大阪ハイテクノロジー専門学校臨 床実習日誌など	授業後の復習をしてお くこと。
		各コマに おける 授業予定	血液浄化における実際の手順や問題解決能力を向上させる演習を行う。		